

本音で語ろう臨床実習のあり方

～果たそう社会との約束～

2026年 3月15日 (日)

13:00～17:00

参加費 一般3,000円 (塾員・学部生は**無料**)

*決済完了後のお取消しおよびご返金は理由の如何にかかわらずお受け致しかねます。

看護基礎教育における臨床実習の意義は申すまでもありませんが、近年、教育内容の変化や医療現場の逼迫により、学生が「実践」を通して学ぶ機会が制限される傾向にあります。その結果、基礎的な看護技術が身につかぬまま就職して戸惑う新人の姿も珍しくありません。臨床看護の本質は、患者との関係性の構築と看護学に根ざした看護技術を基盤にしています。また、臨床における看護水準は、看護の社会的有用性を示す指標でもあることから、基礎的な看護技術を習得した看護師を社会に送り出すことは、看護教育と臨床が果たすべき社会との約束であり、その責任を改めて見つめ直す必要があります。

今回の勉強会は、基礎教育と臨床が協働して、学生たちが学内で学んだ基礎技術を、目の前の患者さんに実践できるための身体知を育む方策等について考えます。限られた実習環境の中での期待や困難を含めて本音で語り合う場にしましょう。

基調講演

『教育・臨床における技術と技能』川嶋みどり 氏

(健和会 臨床看護学研究所所長)

教育・臨床それぞれの立場から

- ・田中 いずみ 氏 (手稲溪仁会病院 看護部長 認定看護管理者)
- ・糸賀 暢子 氏 (中部国際医療学院 学校長)
- ・梅川 奈々 氏 (四条畷学園大学看護学部 准教授)

【企画担当世話人】

川嶋みどり・佐藤紀子・茂野香おる・内山孝子・山本大祐

【QRコードより参加申込み】3月12日(木)まで
<https://forms.gle/ZS9n5LaCz4CfhVH16>

